

研修会報告

2019年12月22日

文責：宮坂智充

研修会テーマ「嫌気性菌勉強会」

開催日時 2019年12月21日（土） 13:00～17:10

会場 東北大学 医学部保健学科 大講義室 病原検査実習室

司会 東北医科薬科大学 宮坂智充

生涯教育点数 20点

参加者 会員参加者34名 入会申請中会員0名 非会員1名 賛助会員7名 学生0名
合計42名

講演「嫌気性菌検査の考え方」

極東製薬株式会社 葛原 繁明 先生

実習「培地供覧・生化学的性状確認」

実習指導：勝見真琴技師、尾池泰典技師、佐藤哲哉技師、平田和成技師

17:10 終了

18:30～21:30 情報交換会開催

内容

細菌検査室を持つが嫌気性菌検査を行っていない、または、行っても手技や知識に不安がある会員を対象として、「嫌気性菌勉強会」と題した研修会を開催した。極東製薬株式会社学術部葛原先生を講師に招き、嫌気性菌検査の必要性、費用、外注機関との連携、ワークフローに焦点を絞り、講演を拝聴した。検査技師の技術と最小限の必要な試薬を準備することにより、カテゴリーAに分類される嫌気性菌検査は十分に実施可能であることが理解できた。このような検査体制の充実は、患者の利益に還元されることも確認できた。

実習では、宮城県で7年ぶりとなる嫌気性菌に関する実習を開催できた。普段見慣れない菌のコロニー観察や、生化学的性状確認、UVランプを用いた性状確認などを、参加者に実際に体験してもらえる貴重な機会を提供出来た。知識力の向上のみならず、技術力を向上させる機会を会員に提供出来たことの意義は大変大きい。実習を実施できたことに対する参加者の評判は良く、今後も継続してほしい旨の意見が届いている。極東製薬株式会社からは、培地や試薬など多大な援助を頂いた。

研修会後には情報交換会を開催し、県内の若手の微生物担当検査技師を中心に15名が集まった。県内および県外の微生物検査担当技師のネットワークづくりの場を提供することが出来た。